

ナフタレン等・C₁₀H₈

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な呼吸器保護具（防じんマスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護眼鏡、ゴーグル、全面保護眼鏡）、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込んだ場合 .. 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。 ○ 眼に入った場合 .. 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。 ○ 皮膚に付着した場合 .. 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 ○ 吸入了した場合 .. 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ○ 装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置すること。 ○ 取り扱い後にはよく手を洗うこと。 ○ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。 ○ 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 ○ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 ○ 使用前に使用説明書を読み解するまで取り扱わないこと。 ○ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ○ 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 ○ 飲み込まないこと。眼に入れないこと。 ○ 環境に放出しないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込むと有害（頭痛、脱力感、吐き気、嘔吐、発汗、錯乱、黄疸、暗色尿、腹痛、下痢、痙攣、意識喪失） ○ 眼刺激 ○ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ○ 発がんのおそれの疑い ○ 血液、眼、気道の障害 ○ 長期にわたる、または反復ばく露により血液、眼、呼吸器の障害 ○ 水生生物に非常に強い毒性 ○ 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性 ○ 血液に影響を与え、慢性溶血性貧血を起こすことがある。経口摂取によりばく露すると、死に至ることがある。眼に影響を与え、白内障を生じることがある。人で発がん性を示す可能性がある。